

文部科学大臣

下村 博文 様

内閣府特命担当大臣（少子化対策）

有村 治子 様

## 質問書

高校保健体育の啓発教材『健康な生活を送るために（平成 27 年版）』（以下、副教材）は既に全国の公立・私立高校に 130 万部が配布されたということです。この副教材による間違った知識が高校生の生涯設計に影響を及ぼすことは、避けなければなりません。早急に対応が必要です。

別添の要請文および資料 1・2 で指摘したとおり、この副教材の使用中止・回収に関して、下記の質問につき、9 月 28 日までに、文書でご回答ください。

### 記

1. この副教材には、「要請文」に記したように、多数の誤りがみられますが（別添の資料 1 を参照。便宜のため、下にリストを掲げます）、そのそれぞれについて、お考えをお聞かせください。
2. この副教材作製においてこれらの多数の「誤り」を犯した経緯と、責任の所在はどこにあるのか、について回答してください。
3. この副教材の差別・偏見を助長する不適切な表現（同上）に対していかに対応するのか、回答してください。
4. 今後、このような事態を招かないために、副教材作製においてどんな改善をするのか、について、回答してください。

「資料 1」に掲載した「副教材」の誤りの箇所と、不適切な表現のリスト（【】は「資料」の該当ページ）

- ・副教材 p. 10 「どうして朝ごはんは、大切なのだろうか？」【資料 p. 15】  
記述と表の関係について。
- ・副教材 p. 18 「喫煙は過去の習慣？」【資料 p. 15】  
イラスト不適切（女性のみ提示）。
- ・副教材 p. 19 同上。 【資料 p. 15】  
記述の順序不適切、不十分。
- ・副教材 p. 20 「飲酒の問題は社会の問題」【資料 p. 15】  
イラスト不適切（女性のみ提示）。
- ・副教材 p. 21 「妊婦の飲酒は危険！」【資料 p. 16】  
説明不適切、不十分。
- ・副教材 pp. 22-23 「薬物問題について誤解していませんか？ 薬物に“No”という生き方を！」【資料 p. 11】  
使用されている写真と記述の関係について不分明。提案と質問（エビデンスについて）。
- ・副教材 p. 31 「知らない怖い性感染症」【資料 p. 11】
  - 1) 科学的に不適切な表現の使用。
  - 2) 差別や偏見を助長する記述。

3) 不適切な広報資料の使用。

- ・副教材 p. 32-33 「今も新たな感染者が報告されています」「HIV の感染経路の正しい知識は、予防に役立ちます」【資料 p. 12】  
不十分な記述。提案（多様性への配慮）。
- ・副教材 p. 38 「子供とはどのような存在か」【資料 p. 3】  
使用されているグラフ、調査結果をこの箇所で使用するの誤り。
- ・副教材 p. 38 「男女がともにライフプランを考えることが大切です」【資料 p. 13】  
不適切な記述（片面的であり、かつ多様性への配慮を欠く）。
- ・副教材同上 「子供とはどのような存在か」【資料 p. 13】  
不適切な記述（子供について）。
- ・副教材 p. 39 「不妊で悩む人が増加している」【資料 p. 5】  
使用されているグラフをこの箇所で使用するの誤り。データなしの記述になっている。提案あり。
- ・副教材 p. 40 「妊娠のしやすさと年齢」【資料 p. 7】  
すでに報道され、修正も行われたが、修正後のグラフにも問題がある。提案あり。
- ・副教材同上 「妊娠・出産に影響を与えるもの」【資料 p. 8】  
グラフに対し不適切な記述。また、より適した統計が存在するのに使用していない。
- ・副教材 p. 40 「妊娠・出産に影響を与えるもの」【資料 p. 13】  
不適切、不十分な記述。
- ・副教材（同上） 「健やかな出産に向けて」【資料 p. 14】  
図の過剰な使用。提案あり。
- ・副教材（同上） 「望まない妊娠を防ぐために」【資料 p. 14】  
記述不十分（避妊について）、不適切（人工妊娠中絶）。提案あり。
- ・副教材 p. 43 「『がん』ってどんな病気？」【資料 p. 9】  
記載のグラフについて出典の記載が不十分、かつ、掲げられた数値の論拠とはなりえず、誤り。
- ・副教材 p. 44 「若い世代のがんとしては、乳がんと子宮がんが多い」  
「15～39 歳のがんの内訳」（グラフ）について、要望。【資料 p. 16】
  
- ・副教材全体について  
前回発行の副教材で扱われていた内容について要望【資料 p. 15】。  
イラストにおける男女の偏りについて（質問；男子生徒は啓発の対象外なのか?）。【資料 p. 15】

以上

2015 年 9 月 24 日

「高校保健・副教材の使用中止・回収を求める会」  
共同代表 西山千恵子、柘植あづみ  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒一丁目 4 番 1 8 号  
サングリア中目黒 4 0 1 号室 「女の空間」NPO 気付  
FAX 03-3711-5054